

第 1 回部会を踏まえた議論の整理(事務局整理)

(1)基本理念について

全てのひとが認め合う、いのち輝く自立支援社会づくり(当初案のとおり)

(2)基本原則について

ご意見を踏まえ、以下のとおり整理

【事務局案】

- ① 真の共生社会・インクルーシブな社会の実現
- ② 全てのひとの命と尊厳の保持
- ③ 障がいの有無によらない相互理解の促進
- ④ 誰もが担い手となる地域づくり
- ⑤ 多様な主体の強みを活かした大阪府全体の底上げ

【考え方】

- ・内容は当初案から大きく変更するものではなく、国連勧告を踏まえ権利についてフォーカスし、項目を並べ替え
- ・共通場面「地域を育む」の施策の方向性とのおすみ分けの観点から、より包括的な視点に立った表現に修正

(3)最重点施策について

現行計画を大筋で継承しつつ、ご意見を踏まえ以下のとおり整理

本人の意向を踏まえた多様な暮らしの実現(現行計画:「入所施設や精神科病院からの地域生活への移行の推進」)
⇒本人の状況や意向を踏まえ、入所施設や病院も含め、「誰とどこで暮らしたいか」選択できることが重要であることから、表現を修正。多様な暮らしの実現に向け、“意思決定の仕組み”“施設等のあり方”“多様な生活場所の確保”といったことも併せて議論することが必要。

障がい者の就労支援の強化

専門性の高い分野への支援の充実

⇒現行計画を大筋で継承しつつ、現行計画策定時からの変化(強度行動障がい等)について言及

(4)共通場面について

ご意見を踏まえ、以下のとおり整理

- ① 障がい者の権利保障
- ② 障がい者の虐待の防止や差別の解消
- ③ 誰もが暮らしやすい環境の整備
- ④ 情報保障及びコミュニケーションの促進
- ⑤ 障がい者の生活を支える人材の確保・育成
- ⑥ 地域の支援力の強化